

# キラットさん

BE AMBITIOUS

挫折と栄光 自分との戦い

大館工業高校 3年

## 石井 昭 仁 さん

他人と違うことをやってみたくて中学校二年生のとき曲げわっぱ太鼓の会に入ったという石井さん。「普段とは違う自分を見つけられる」と太鼓の魅力を語ります。

静岡県御殿場市の富士山五合目で開催された太鼓の全国大会「富士山太鼓まつり」で、並みいる猛者と競い、堂々と優勝を勝ち取ったのが一昨年のこと。ほかの参加者は二十五歳以上のベテランばかり。そんな中で当時高校二年生だった彼が優勝するのはだれが予想したでしょう。

しかし、快挙を遂げたのもつかの間、今度は、王者に課せられた試練が彼を待っていたのでした。富士山で日本一になった彼は、続いて福井県で開催された「オールジャパン・オタイコ・コンテスト」でも、当然優勝候補の最右翼と目されていました。ところが結果は、右腕肉離れのため屈辱の予選落ち。「本当に悔しかった」とその時の心境を振り返ります。

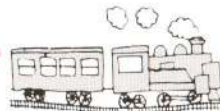


昨年の館工祭で (写真提供・新川写真館)

大会当日は三十五度を超える猛暑。「容赦なく照りつける太陽の下、鼓動が高まり、汗は止めどもなく滴り落ち、筋肉が硬直しましたが、二本のバチにすべてを託して死に物狂いで戦い抜きました」。結果、念願の優勝。見事に雪辱を果たしたのです。

天性の情熱は彼に雷神をも宿らせるのでしょうか。彼の演奏を見た人はその迫力に圧倒され、一様に言葉を失うといいます。

## 盛岡発 → 大館着



前略

### 大館市民になりました

57

今回は片山四区の山内正興さん(せいこう)一家です。

Q・ご家族は何人ですか？

妻の美和、長男の良悟、次男の悠雅と私の四人家族です。

Q・どちらからおいでになりましたか？

去年の七月、転勤で盛岡から引越して来ました。私の生まれ

は青森県五所川原市、妻は北海道函館市の出身です。

Q・大館の印象はいかがですか？

ここ片山地区について言えば、私たちが引越して来てすぐに大きなショッピングタウンや大手の家電販売店ができるなど、利便性の向上が著しいようですね。今後にもぎやかになりそうな計画がいろいろとあるようで、うれしいことです。気候の面では、「夏、暑くて雨の日が多い」と妻が話します。そこで今年にはエアコンを買おうかと今から計画中です。そういうえば、地元のかたから「夕方四時ごろ、にわか雨が降るのが大館の特徴」と聞かされていたのですが、どうやら本当のようですね。

Q・食べ物や言葉はいかがですか？

職場の人たちとお昼に作って食べた本場のきりたんぼがおいしかったです。家族にも食べさせたくて「きりたんぼまつり」を楽

しみにしていたのですが、所用で行けなくなり残念でした。

言葉では、「んだすな」という言葉が面白く、気に入って多用しています。

Q・大館に何を望みますか？

子供と一緒に遊べる場所が欲しいですね。例えば動物園のような、核となる公園施設があったらいいと思います。気軽に遊びに行ける児童公園も、もっと身近にたくさんあれば、と思います。

